

# ひだまり

第14版  
平成30年2月  
公立八鹿病院 緩和ケア病棟



大雪が降り、地域によっては車の渋滞や雪かきなど日常生活に大きな影響をきたしています。凍てつく道路、思わず足に力が入り「滑ってころんでなるものか・・・」と気合が入ります。

また、インフルエンザも大流行!! 手洗い・うがい・マスク着用など皆さんの意識も高まっています。この時期を乗り越えましょう。今回は、ひだまりの会の様子や緩和ケア病棟に入院されているご家族の声をお届けしたいと思います。



## ひだまりの会について



第11回ひだまりの会を講堂にて11月11日に行いました。ひだまりの会とは、大切な家族を亡くされたご家族にお集まりいただき、グリーンケアの一環として、語り合うことで心を癒すことを目的とした会です。26名のご家族の方に参加していただきました。今回はボランティアの方に、オカリナとピアノの演奏をしていただき「里の秋」「糸」

「ふるさと」など心に染み渡る音色を聞かせていただきました。

また、スライドショーでは患者さんの懐かしい顔と緩和ケア病棟の一年を振り返りました。患者さんとの懐かしい思い出やご家族同士の語らいの時間を過ごしていただき、涙あり笑いありの会となりました。ひと時でも心癒される時を過ごしていただけたなら嬉しく思います。

## 会に参加された方の声を紹介します

- この会に参加すると改めて生きる意味、意義について考えます。
- 気持ちが楽になり、気持ちが分かり合え、意味のあるいい会でした。
- 1回目、2回目、3回目と感じが違い、又参加したい。
- 同じ境遇の人たちとの交流で思いっきり話し、慰められました。
- なかなか初対面の方とは話しができませんのですが、話しかけてもらいよかったです。自分の思いも伝えることができました。同じ経験をされた方と話しが出来、自分と違った生活をされている方もあり、自分の考えを前向きに思ったりしました。その反面、入院中のことを思い出し、悲しい気持ちにもなりました。義母と参加でき、色々な人の話が聴けてよかった。



## ～ご家族の生の声～

Aさんご家族よりお話を聞かせていただきました。ご紹介をします。

### 1) 緩和ケア病棟を選んだ理由をお聞かせ下さい。

家内は一昨年の11月に八鹿病院を受診し、がんの診断を受けました。そして他院に紹介していただき、入院、抗がん剤を打ち、手術を受けましたが、昨年10月に再発。再度の抗がん剤治療を断念したため、地域連携室より八鹿病院に緩和ケア病棟があると教えていただきました。最期を迎える患者は痛みを抑えていただくのが本人のためでもあり、家族の願いでもあると思い、緩和ケア病棟を選びました。

多肉植物で  
みんなを  
癒します～



春になったら  
花が咲き始め  
ますよ

### 2) ケア病棟で過ごしてみているいかがですか？

11月から緩和ケア病棟に入院をしました。病室が広く、庭園に鯉もいるし、病室の前には、多肉植物が多く置いてあり、普通病棟では考えられない病棟であるのでびっくりしました。そして、看護師さんは、患者に対して家庭的な雰囲気ですべて接していただき、安心して過ごすことができます。

貴重なお声をお聞かせいただきありがとうございました。スタッフ一同 患者さんご家族の思いを大切にしていきたいと思っています。



## 編集後記



1人でも多くの方に、緩和ケア便り「ひだまり」を目にさせていただきたく、内科・外科外来・地域医療課の前に設置させていただいています。緩和ケアって何？緩和ケア病棟はどんなところ？一度見学したいけれど・・・など、お聞きになりたい事はないでしょうか。定期的に「ひだまり」を発行しますので、来院された際、ご覧になってみてくださいね。

文責 谷口